株主の皆様へ

第158期 中間報告書

〈2025年4月1日から2025年9月30日まで〉

Enshu

証券コード 6218

トップメッセージ *Top Message*

代表取締役会長 兼 CEO
勝倉宏和

代表取締役社長 兼 COO
鈴木敦士

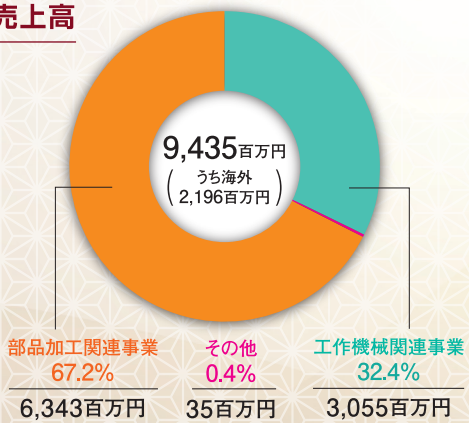
株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

上期（第2四半期）の連結決算につきましては、売上高は94億円と前年同期比で15%強の減少となりましたが、当期純利益は67百万円と2023年度下期以来の黒字を確保致しました。売上高の減少は工作機械事業によるものですが、受注の状況は国内、中国で回復の兆しも見られ、下期は増収に転じるものと予想しております。一方、部品加工事業につきましては、上期は増収でしたが、下期は世界的な経済の不透明感を踏まえ一時的な減収を想定しております。通期での黒字計上に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

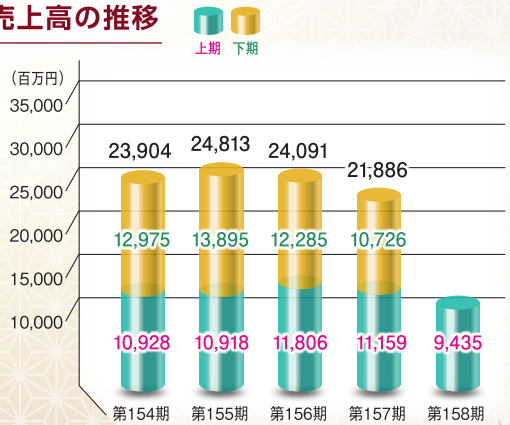
2年目を迎える新中期経営計画「Make a New Enshu」につきまして、まず事業の着実な拡大が見通せる部品加工事業は、利益率の改善に向けての製造現場改革による生産性の向上に取り組んでおります。売上高が不安定な工作機械事業は、損益分岐点経営の徹底により赤字発生を抑えながら、より競争力のある分野へと経営資源をシフトさせており、将来の成長に繋げて参りたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

上期売上高



売上高の推移



部品加工事業

Parts processing business

部品加工事業におきましては、当社を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、日本・ベトナム両国でのグローバルなモノづくりを推進し、お客様に選ばれ続ける企業となるべく、「売上拡大」「収益力の強化」「3事業のシナジー創出」に挑戦してまいります。

■売上拡大

内燃機関部品を中心に、EV部品や、新領域として産業用機械部品の取り組みを進めていきます。
今年度も、船外機関連部品の新規生産ラインを工作機械事業と共同で構築し、生産を開始しております。
活発な引き合い状況から、更なる仕事の取り込みを積極的に図ってまいります。

■収益力の強化

仕事量の変動に柔軟に、かつスピードをあげて対応すると共に、生産ライン毎に原価を見える化し、原価低減を目標とした現場主導の生産性向上活動を継続してまいります。
間接部門においても活動を連携させ、具体的な製造経費費目の削減を目標として取り組んでおります。
また、新規生産ラインにおいては、生産開始後の状況を管理・監視し、目標のFS（フィジビリティスタディ）を達成するべく、製造・間接部門が一体となって対応していきます。

■3事業のシナジー創出

部品加工事業では、SIer事業と共同でデジタル化・省人化、また、工作機械事業と共同で省エネの展開や自動化ラインづくりを進めるなど、3事業の協業による生産性向上に取り組んでおります。
自社の工場をショールーム工場と位置づけ、引き続き、3事業のシナジー創出を推進してまいります。

国内拠点
Domestic locations

本社及び工場	〒432-8522	静岡県浜松市中央区高塚町4888
浜北工場	〒434-0016	静岡県浜松市浜名区根堅788
東北支店	〒984-0042	宮城県仙台市若林区大和町3-10-10
東京支店	〒140-0011	東京都品川区東大井4-13-15（スターハイツ）
大阪支店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町1-23-43（ファサード江坂ビル）
サービスステーション	九州	

【関係会社】エンシュウコネクティッド株式会社　〒434-0016　静岡県浜松市浜名区根堅788

工作機械事業

Machine tool business

自動車業界の設備投資低迷が続く中、当社の工作機械事業の受注・売上も大幅に減少する状況が続いておりました。しかしながら、直近では下げ止まりの兆しが見られております。引き続き、安定した売上を確保するための取り組みを進めてまいります。

■需要の変化への対応

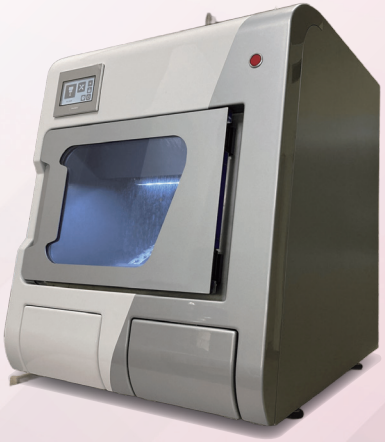
EV化や米国関税問題など、依然として先行きが不透明であり、新規の設備投資は引き続き低調なものの、現有機械の老朽化が進む中で点検修理・保守部品・改造などの需要は確実に増加しております。
また、人手不足解消のための自動化やDX（IoT）化、カーボンニュートラルに向けた省エネ改造など、社会課題に対応するための投資も増加傾向にあります。
こうした状況の中、当社は、モノ（従来の量産システムやマシニングセンターなどの商品）だけでなく、コト（保全・サービス・改造などのエンジニアリング）も加えた幅広い営業を展開してまいります。

■新分野の取り組みと成果

将来の成長に向けた新分野の取り組みも着実に進めております。
既に量産を開始した歯科加工機をはじめ、半導体向け加工機も試作機が完成し、現在お客様と協同で評価中となります。また、自動車EV部品量産試作用のマシニングセンター・レーザー加工機は既に完成し、お客様へ納入いたしました。

■自動化・DX化需要への対応強化

子会社のエンシュウコネクティッドでは、物流や三品産業など幅広い業界からの自動化・DX（IoT）化の引合い、受注が急増しております。今後もリソースを追加投入して売上の拡大、会社の成長を加速させてまいります。



歯科加工機　Aadva ミル スーペリア

海外拠点 Overseas locations

ENSHU (USA) CORPORATION	（アメリカ）
ENSHU (USA) CORPORATION MEXICO R.O.W.I	（メキシコ）
ENSHU (Thailand) LIMITED	（タイ）
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	（タイ）
PT. ENSHU INDONESIA	（インドネシア）
ENSHU（QINGDAO）LIMITED	（中国）
ENSHU（QINGDAO）MACHINERY Co.,Ltd.	（中国）
ENSHU INDIA PVT Ltd.	（インド）
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	（ベトナム）

会社の概況 *Company Profile*

会社概要

商号	エンシュウ株式会社（英文 ENSHU Limited）
設立	1920年2月5日
資本金	46億4,085万円
従業員数	829名（2025年9月30日現在）
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品、レーザー加工機

取締役体制

代表取締役会長 兼 CEO	勝倉宏和
代表取締役社長 兼 COO	鈴木敦士
取締役	田代繁甲
社外取締役	山地勝仁
取締役（常勤監査等委員）	村松靖
社外取締役（監査等委員）	森和彦
社外取締役（監査等委員）	村松奈緒美

執行役員体制

会長執行役員 CEO	勝倉宏和
社長執行役員 COO（営業・開発本部長）	鈴木敦士
副社長執行役員（技術・製造本部長）	田代繁甲
執行役員（営業・開発本部副本部長）	加藤猛
執行役員（技術・製造本部副本部長）	板垣成信
執行役員 CTO（技術・製造本部副本部長）	山田博之
執行役員（技術・製造本部副本部長）	栗田和典
執行役員 CFO（経営管理本部長）	大野裕哉

株式事務のご案内（株主メモ）

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日	（期末配当）3月31日 （中間配当）9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告方法	電子公告（https://www.enshu.co.jp/koukoku/） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株式の上場	東京証券取引所スタンダード市場

単元未満株式（1～99株）を保有されている株主の皆様へ

単元未満株式は市場における自由な売買ができません

単元未満株式（1～99株）を保有されている株主の皆様からの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになります。お取引の証券会社等にお問い合わせください。お取引の証券会社独自の手数料がかかる場合がございます。

【お問い合わせ先】

みずほ信託銀行 証券代行部　ホームページ
https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）

当社はインターネット上で
最新の情報を皆様に提供しております
ホームページアドレス
https://www.enshu.co.jp

UD FONT 見やすく読みまちがえにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

エンシュウ株式会社